

サニックスグループの価値創造



マテリアリティ
価値創造プロセス

マテリアリティ

■マテリアリティの特定

マクロトレンド分析による社会課題の抽出を出発点として、自社にとってのリスクと機会の分析を通じて経営上の重要課題(マテリアリティ)を特定しました。企業活動への影響度を勘案しながら優先順位付けを行い、マテリアリティを中長期的な経営戦略や個々の事業戦略の策定に活用します。

中でも重要性が高いと位置づけた課題に対して、サニックスグループのもつリソースを集中的に投下する分野として「フォーカス事業領域」を選定しました(17ページ参照)。課題解決に向けて関連するセグメントが強みを生かし協働しながら、成長戦略を確実に遂行し、持続的成長を図っていきます。

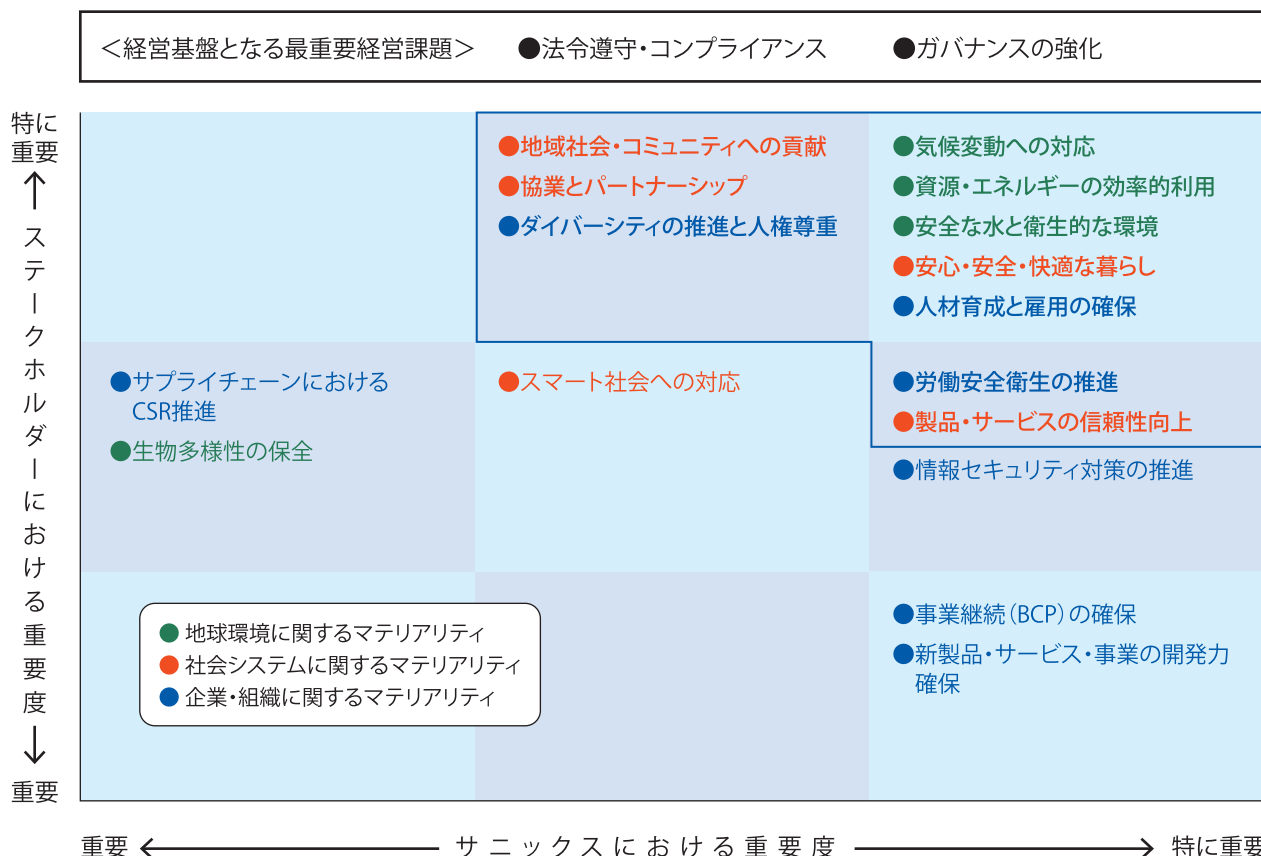
なお、サニックスグループのマテリアリティへの取り組みを通じて、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」の達成にも貢献していきます。

マクロトレンド

世界共通/国外	国内
<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動 ・新興国における人口増加 ・アフターコロナにおける行動変容 ・循環経済への移行 ・デジタル化の加速 ・価値観の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進展 ・労働力の不足 ・都市化の進行

自社にとってのリスクと機会の抽出

マテリアリティの特定・優先順位付け



■サニックスグループのマテリアリティ

地球環境に関するマテリアリティ	次世代に快適な環境を残していくために、サニックスグループの企業活動および製品・サービスの提供を通じて取り組むべき重要な経営課題
社会システムに関するマテリアリティ	持続可能な社会の実現に向けて、サニックスグループの企業活動および製品・サービスの提供を通じて取り組むべき重要な経営課題
企業と組織に関するマテリアリティ	サニックスグループ内の運営や、社会との関わりにおいて取り組むべき重要な経営課題

■マテリアリティごとのサニックスグループにおけるリスクと機会

	マテリアリティ	当社グループにとってのリスク	当社グループにとっての機会
地球環境	気候変動への対応	気候変動による自然災害リスクの増大 温暖化対策に伴う規制強化	脱炭素に資するニーズの拡大、技術開発の加速
	資源・エネルギーの効率的利用	化石資源・天然資源の枯渇	省エネ・省資源・資源循環に資するニーズの拡大、技術開発の加速
	安全な水と衛生的な環境	安全な水と衛生的な環境の不足による健康リスクの増大	衛生的な環境・空間・水に関するニーズの拡大
社会システム	安心・安全・快適な暮らし	激甚化する自然災害等による生活の不安定化	レジリエンス向上に関するビジネス拡大
	製品・サービスの信頼性向上	品質・安全・環境性能の低下等による社会的信用の失墜	顧客満足度の向上、ビジネス拡大 取引先との信頼関係構築
	地域社会・コミュニティへの貢献	信頼性の低下による事業活動への影響	コミュニティとの信頼関係構築、地域社会との共生による事業基盤の安定化
	協業とパートナーシップ	事業領域の硬直化、競争力の低下	当社グループのみでは成し得ないさまざまな事業の創出
企業と組織	人材育成と雇用の確保	労働力不足、人材流出	優秀な人材の確保 円滑な事業活動の継続
	労働安全衛生の推進	物的・人的被害による事業への影響 社会的信用の失墜、長時間労働	従業員の健康と安全確保、生産性の向上、モチベーションの向上
	ダイバーシティの推進と人権尊重	多様化するニーズ・価値観に対応できず競争力低下	優秀な人材の確保 多様な価値観による価値創造力向上

フォーカス事業領域の選定

住環境領域

戸建住宅、集合住宅、その他建築物に対する適切なメンテナンスを実施することで、安心・安全・快適な暮らしを提供。また、建物の長寿命化により資源の効率的利用に貢献。



エネルギー領域

太陽光発電システムの施工販売により再生可能エネルギーの普及拡大を図り、気候変動への対応、資源・エネルギーの効率的利用に貢献。



資源循環領域

産業廃棄物の適正処理、再資源化およびサーマルリサイクルによるエネルギー生成、ならびに廃液処理による水資源の浄化により、資源の効率的利用、清浄な水資源の確保、安心・安全な暮らしに貢献。



強靱な経営基盤の構築

- ・ESG (環境・社会・ガバナンス) の取り組み
- ・人材の育成、働きがいの醸成、従業員の健康 など
- ・経営理念:「仕事が教育で 教育が経営である」

価値創造プロセス

お客様への価値提供を通じて
社会課題の解決を図り、
次世代へ快適な環境を
承継し得る持続可能な社会を
実現する

社会が抱える課題

- 気候変動
- 資源・エネルギーの効率的利用
- 安全な水と衛生的な環境
- 激甚化する自然災害

世界の潮流

- 分散型社会への移行
- デジタル化の進展
- パラダイムシフト
(モノからコト、所有からシェア、
クローズドからオープン)

インプット

① 財務資本 (2024年3月末現在)

- ・純資産：8,912百万円
- ・総資産：36,965百万円
- ▶ 財務データ➡68ページ～参照

② 社会関係資本 (2024年3月末現在)

- ・H S 事業：5 地区本部、62拠点
- ・E S 事業：12拠点
- ・S E 事業：2 地区本部、14拠点
- ・P V 事業：30拠点
- ・新電力事業：1 拠点
- ・E R D 事業：19拠点

③ 知的資本

顧客接点の多さから得ることのできる貴重な情報(お客様の声)を活用し、顧客第一主義の観点から創出された独自の製品・サービス群➡33ページ参照

④ 人的資本 (2024年3月末現在)

連結従業員数：2,049名

【豊富な有資格者】

白蟻防除施工士、一級建築士、宅地建物取引士、建築施工管理技士、電気工事士、電気工事施工管理技士、エネルギー管理士、消費生活アドバイザー 他

⑤ 自然資本 (2023年度)

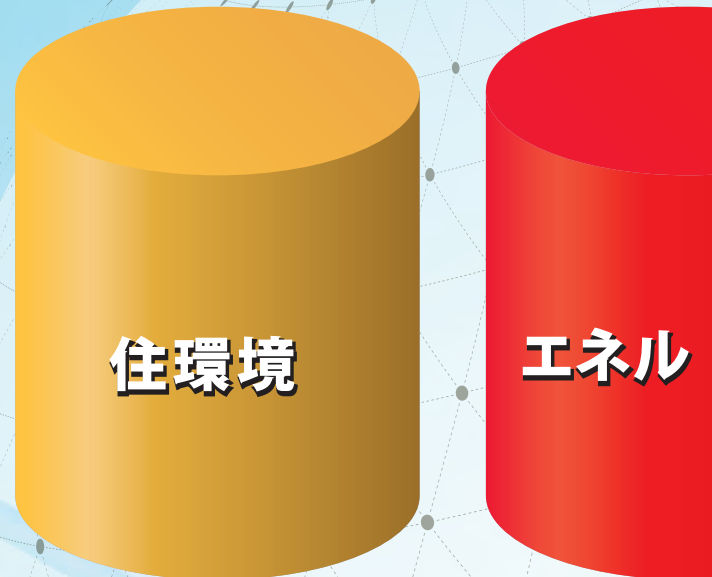
- ・エネルギー使用量
非化石 4,663千GJ
化石 228千GJ
- ▶ 環境データ➡58ページ参照

⑥ 製造資本 (2024年3月末現在)

- ・物流センター
- ・物流第2センター
- ・善日(嘉善)能源科技有限公司(海外製造拠点)

「お客様」と「社会」と「企業」の共通価値

多様なパートナーシップ・事業領域の進化



サニックスグループは、抽出した社会課題について、創業以来積み重ねてきた多様なノウハウと専門知識、地域に根差した拠点網を基礎とし、世の中の流れやお客様との接点の中から生み出した独自の製品・サービス群を社会実装していくことで、課題解決を図ります。また、当社グループとは異なる強み、知見、ノウハウをもつ多様なパートナーとの協働を積極的に進めることで、「お客様」と「社会」と「企業」の共通価値を創造する当社独自のビジネスモデルを、さらに進化・深化させてまいります。

価値を創造する独自のビジネスモデル

と深化

ギー

資源循環

持続的成長のための戦略

20ページ〜

持続的成長を支える経営基盤

43ページ〜



提供する価値 (VALUE)

「快適な住環境を次世代につなぐ」
のが当たり前の社会



「環境負荷の低いエネルギー」が
当たり前の社会



「捨てない」のが当たり前の社会



「次世代へ快適な環境を」